

超低雑音デジタル絶縁増幅器

DIA-1000EE

Preliminary

DIA-1000EEは、脳機能研究所で開発された解析ソフトウェアNATと併せて使用することにより、アルツハイマー型認知症の早期発見の臨床研究をアシストする超低雑音デジタル絶縁増幅器です。



特徴

高性能

24ビットAD変換器を採用した高精度のAD変換器を搭載しています
新しく開発された $0.5 \mu V_{rms}$ 以下という低雑音増幅器で高性能を実現した絶縁増幅器です。
可能です

USBケーブル1本でPCに簡単接続

セットアップが単純で簡単な操作で測定できます

USBからの電力で動作可能

USBからの電力で動作可能です

小型軽量

小型軽量です 100 x 160 x 35 (mm) 700g 以下

高速接触抵抗測定

データを取るまでの準備時間が短縮されます

多種類のセンサーに対応

入力ピンのスワップ機能があるので多種類のセンサーに対応できます

解析ソフトNATに対応

入力チャンネル数が21CHチャンネル数あり、解析ソフトNATに対応しています

低コストで導入可能

低コストで導入可能です
詳細はお問い合わせ下さい

主な仕様

入力チャンネル数	21
入力信号	0.4096mVp-p 16ビット
入力インピーダンス	100M Ω
信号帯域幅	~40Hz
通信	USB2.0
外形寸法	100mm(W) x 160mm(L) x 35mm(H)
制御通信	USB2.0/3.0
接触抵抗測定	~100k Ω
抵抗測定時間	2秒

 hirak 株式会社 啓

〒227-0061 神奈川県横浜市青葉区桜台3-131
TEL: 045-985-2317 携帯: 070-2176-2317
E-mail: cherryhill@hirak.co.jp

hirak

検索

アルツハイマー型認知症の 早期発見のための臨床研究を支援にする 超低雑音絶縁増幅器



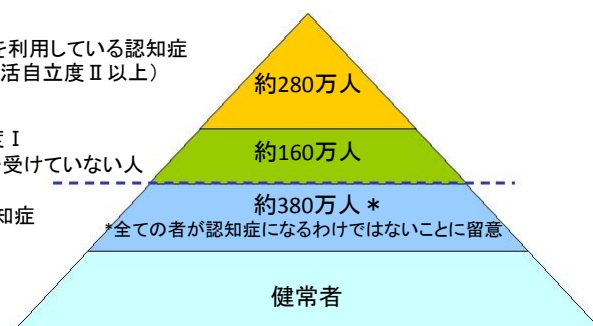
アルツハイマー型認知症の現状

平成22年の調査では、認知症でもないが正常でもない人の割合は13%、380万人にと推定されます。また、老老介護の世帯率が51.2%（平成25年）になり、体力面で介護が重い負担となっています。また、在宅介護にしても、施設に入るにも経済的負担が重くのしかかります。

介護保険制度を利用している認知症高齢者（日常生活自立度Ⅱ以上）

日常生活自立度Ⅰ
介護保険認定を受けていない人

MCI（正常と認知症の中間の人）



65歳以上高齢者人口
2,874万人

アルツハイマー型認知症をスクリーニングして早期発見し予防する

平均寿命と健康寿命の差は、日常生活に制限のある「不健康な機関」を意味します。

5年はやくアルツハイマー型認知症を早期発見することができて、平均寿命と健康寿命の差を5年短縮することができる。すると、個人の生活の質の低下を防ぐとともに、社会保障負担を半減できることを期待できます



 **hirak** 有限会社 啓

hirak

検索

〒227-0061 神奈川県横浜市青葉区桜台3-131
お問合せは : 045-985-2317
または、携帯 : 070-2176-2317
e-mail : cherryhill@hirak.co.jp にご連絡下さい